

令和元年度 試験研究・知識普及概要

《研究課題名・知識普及名》

施設内通路、専用歩道での運用を想定し、多用途展開をしやすい新型モビリスの
ベースユニット設計試作

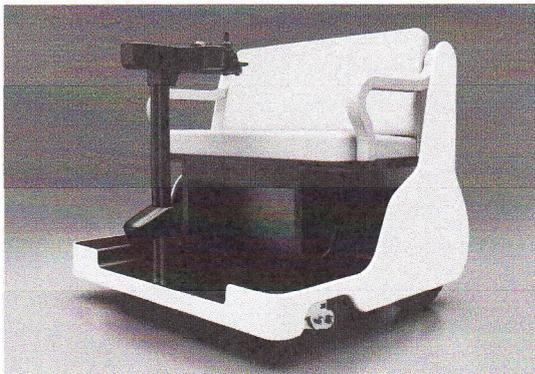
《申請者》

フリガナ：カブシキガイシャドーグ オオシマ アキラ
所属機関・団体：株式会社 Doog
職位・氏名：代表取締役 大島 章

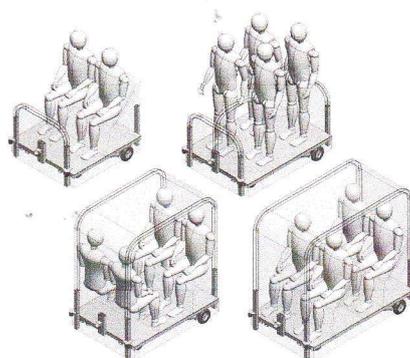
《研究・知識普及の概要》

弊社では2014年からこれまで、人が2名並んで座って乗れる自動走行ロボットである「モビリス」の開発・事業化に取り組んで参りました。2019年3月には富士急ハイランドの新しいダークライドアトラクションの「無限廃坑」に導入・運用されております。この事業化からさらに飛躍するためには、様々な装飾や座席配置に対応できて、装飾を顧客現場に合わせて作りやすい「ベースユニット」と呼べる機体が必要であることが明らかになりました。

本研究では、新たにモビリティ（新型モビリス）のベースユニットを設計・試作し、県内の行楽施設への営業活動や、行政と連携した新たなモビリティ事業の体制構築に取り組むことで、本申請を早期に事業化させることを目的としています。ベースユニットをより汎用的で、事業として適切な切り分けで用意しておくことによって、開発製造期間を短くして、顧客ニーズに応じたカスタマイズをしやすいほか、高度なロボット技術とコンテンツ製作を切り分ける効果によって事業を広く展開しやすいことは弊社の主力製品である「サウザー」と同様であることが見込まれます。



【現行のモビリス】



【本研究対象の新たなベースユニット】